

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年9月3日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	荒尾市	代表者名	荒尾市長 浅田 敏彦
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0968-63-1294
担当者役職		担当者氏名	
住所	864-8686 熊本県荒尾市宮内出目390番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 英幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	国の方針を絡めて自治体クラウドの必要性やメリットなど、希望した内容に沿った内容で行っていただけたため。
アドバイザーへの要望事項	次回の派遣では、協議体の設立についてのもっと具体的なお話や、また、勉強会の中でシステムベンダーを呼んで更新費用などについての説明を受けるため、間に立って交渉を円滑に進めていただくことに期待しています。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月27日	15時00分	17時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	荒尾市役所		最寄駅	荒尾駅
	所在地	熊本県荒尾市宮内出目390番地			
	最寄駅からの交通手段	タクシーもしくは徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	共同運用を検討するにあたり、任意の協議会などの協議体の設立やスケジュールについてノウハウを保有しておらず、今後どのように進めるべきかアドバイスをいただきたい。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	1日目については、これまで担当者レベルでの勉強会だったものを各団体内での意思統一を図り、協議体設立検討の段階へ一歩進めたい。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	各団体の課長向けに自治体クラウドについての事前レクチャー。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	これまでは担当者レベルだったものを、各団体の課長級に自治体クラウド実施についての意識を持ってもらうことができた。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	今回は、協議会の設立や運営方法などまでは進められなかったため、2日目で行う予定。また、自治体クラウドを行う上での経費について、井上先生を交えてシステムベンダーに依頼を行う予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせであり、アンケートを取るような内容ではないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	令和2年度に住民情報システム共同利用を目的とした協議体を設立し、複数自治体による共同運用を目指したい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

